



2025年5月31日 292号

〒330-0853 埼玉県さいたま市大宮区錦町427
電話 048-643-6655 FAX 048-631-1441
J R T E L 054-5844-5 J R F A X 054-5846
email : omiya-chihon@ireu-omiya.jp

発行人 川澄 新一 編集人 小宮 裕幸



JR東労組大宮地本の
ホームページは
←こちらからアクセス

東日本旅客鉄道労働組合 大宮地方本部

私たちはあらゆるハラスメント・不当労働行為を許さない！



全職場からたたかいを創り出し、異常な経営体質に立ち向かい、安心して働ける職場とさらなる組織強化・拡大を勝ち取ろう!!

繰り返されるハラスメント・不当労働行為！ 事実をねじ曲げ、不当処分！ 安全よりも利益優先、責任追及、ウソ・ゴマカシ・隠蔽体質… 異常な経営体質の是正を求めて全職場からたたかおう!!



「あらゆるハラスメント・不当労働行為を許さない」
たたかいに決起しよう！

大宮地本と大宮支店で対立している団体交渉はこれ！

4月14日は、大宮駅西口で信越地本の仲間と共に行われた「武蔵小金井駅暴行事件」のビラ配布行動の様子。

これは違法で保釈された団結者・団体交渉の侵害だ！

現在、全職場で対話行動を展開中!!

大宮地本は繰り返される不当労働行為に対し、この間8本の申し入れを行い、「不当労働行為と捉えられかねない事象」を労使で確認し、会社からの「管理者のみなさんへ」という注意喚起や、労使の議論を「不当労働行為撲滅宣言」として発出し、組合差別のない安心して働ける会社をめざしてきました。

しかし、このような中、管理者の虚偽報告を元に大宮運転区(当時)では、不当処分と不当転勤が発令され、管理者による不当労働行為も小金井運転区・さいたま運転区(当時)でもまたもや発生し、団体交渉を重ねてきました。私たちは議論内容の一致を図り、繰り返される不当労働行為に対し、団体交渉で解決できない場合は、労働委員会・裁判等の第三者機関を活用していきます。また、「被害者が加害者にされた！武蔵小金井駅暴行事件」や「安全よりも稼ぐ」の経営姿勢、度重なる不適切事象の隠蔽等、JR東日本の異常な経営体質が明らかになっています。

現在、対話行動を展開中です。討議資料を読み合わせ、職場現実と問題意識を共有し、あらゆるハラスメント・不当労働行為を許さず、異常な経営体質是正を求めて東労組に結集し、全職場からたたかいを創り出そう!!

「被害者が加害者にされた！ JR東日本武蔵小金井駅暴行事件」 理不尽な暴行行為を隠蔽し、不当処分で仲間を追い込む会社姿勢を許してはならない!!



4月14日、大宮駅西口で信越地本の仲間の仲間と共に「武蔵小金井駅暴行事件」のビラ配布行動を行いました。56名の参加で625枚のビラを配布し、理不尽な暴行事件とJR東日本の経営体質の問題を堂々と世間に訴えてきました。



受け取った方からは、「事件について初めて知り、JR東日本でこんなひどいことが起きている事に変な驚いた」「私が働く会社でもパワハラがあり他人事ではない。ハラスメントを許さず、頑張してほしい」等の声を頂きました。

その後の第1回口頭弁論報告集会には、リモートを含め全体で270名の仲間が結集し、「後輩に同じ目にあってほしくない」と立ち上がった若き仲間の決意を我が物とし、ハラスメント・不当労働行為を許さず共にたたかうことを確認しました。



第2回口頭弁論は6月23日

武蔵小金井駅暴行事件は異常な経営体質の問題であり、JR東日本で働く全員にかかわる問題だ!!
全職場からさらなるたたかいを創り出そう!!

始	論
論	点

4月30日に発表された2025年3月期決算は全セグメントで増収増益となった。単体決算は営業収益が前年比105.8%、営業利益が前年比109.2%、当期純利益が114.2%であり、予想を大幅に上回る好業績だ。また、ゴールデンウィークの利用状況も新幹線・在来線とも昨年を上回り、近距離利用はコロナ前をも上回る状況であった。その原動力は、「融合と連携」により大きな変化を続けている職場現実の中、繁

「人事・賃金制度等の見直し」の2点になるが、JR発足以来、最も私たちの仕事と生活に大きな影響を及ぼす施策と言っても過言ではない。管理者と一般社員で分けて行われた支社幹部による説明会でも払拭されたい多くの不安と疑問が渦巻いているのが現実である。実施する目的や見直しに至った問題意識として、これまでの仕事や組織の枠組みにとらわれない「3つの『超えていく』の実現」を目指すこと、社員の成長を「グループの成長の原動力にするための後押し」とし、新たな手当の新設や変更などが数多く提案されているが、各項目が目指す姿の実現にどのよう

明かに示されていない。また、提案時の結びの言葉として、「発足以来様々な組織や制度があったが、その中には財産もあれば、不足かせもある。今回の再編と改正で、足かせの部分については、国鉄時代の『残き方について』について、本津』を一掃して新しい会社から提案を受けた。大きくは、「組織の見直し」と

**あらゆるハラスメント・不当労働行為を許さず、
2本柱のたたかいを全ての職場で実践し、25JR 総連春闘勝利とさらなる組織強化・拡大の実現に向けて全組合員でたたかおう!!**

大宮地本は仲間の分断が職場の分断・地方の分断が明けて透けて見える今施策に堂々と真正面から向き合い、全ての仲間が安心して働ける職場と会社の構築、家族も含めて不安なく生活できる環境の実現に向けて職場から運動をつくりだしていく。

「残滓」とは一体何を指すのかをハッキリすべきだ。「残滓」とは「残りかす」という意味がある一方で、「過去に起きた事柄が現在も解決していないもの」や「時代を超えて残っているもの」という意味もあり、昨年4月に社長も変わり、今年3月には「TAKAN」も解決していかないものや「時代を超えて残っているもの」という意味もあり、道会社の看板を掲げる限り、全社員の誇りとして絶対に変えてはいけないものは、鉄道の安全と命を守り抜くことである。そして、先輩たちがつくり上げてきたたたかいの数々を支え続けていたものは労働者の団結である。仲間を信じ組織を信じて、組織内の議論に留まらず、職場の隅々で未加入者の方や社友会の方ともドンドン議論を深めていこう!

5月期退職者激励会

大変お疲れ様でした(敬称略)
島田 一郎
宮総支部・保全科



5月23日大宮地本会議室

カンテラ

5月12日、宇都宮支部の執行部のみなさん、分会の仲間と共に足尾を訪れた。

5月4日に放送された【風をよむ・サンデーモーニング】で、足尾で森を再生する懸命な取り組みについて紹介されたが、報道を取り巻く厳しい情勢がある中で、企業犯罪の舞台となった足尾の現在の姿を報道したTBSの姿勢に敬意を表したい。

森ひとプロジェクトの事務所である「みちくさ」にお邪魔をして、OBの橋倉さんとお話することができた。「事務所の近くに植えた木は、冬は枯れてしまいが、夏になるとまた葉をつける。森は再生でき苦しい分会運動をした経験があるが、皆さんもぜひ前を向いて頑張ってください」と暖かい激励の言葉をいただいた。また、「人が生きるために必要な生木は何本だと思えますか?」との質問に一同沈黙してしまったが、答えは27本だそう。

(Y・A)

JR東労組大宮地本「春闘総括会議」を開催！



5月10日、大宮地本は「春闘総括会議」を開催し、たたかひの総括と今後の課題を意思統一しました。川澄執行委員長より「2025JR 総連春闘の勝利・満額獲得とあらゆるハラスメント・不当労働行為を許さない2本の柱を職場からのたたかひで推し進め、組織強化が得られた。これらを総括し、これからのたたかひで何をやるのかを明確にし、今後のたたかひをさらに創り出していこう。」「職場で何を構想し運動を創り、どこに苦勞し職場がどう変わったかが重要。25春闘のたたかひの前と現在で組織と自分自身がどう変化したかが大切。」

「同時に取り組んだ過半数代表選も、勝利または惜敗等々あったが、組合員数を超える票を得ることができた。」「先日提案された会社施策にしっかりと向き合い、議論していこう！」とあいさつがされました。

総括視点の提起を受け、討論は2つの班に分かれ職場現実を出し合いました。具体的には「JR武蔵小金井駅暴力事件について知らない組合員を作らない」ための総対話行動貫徹に向けたたたかひや、過半数代表者選挙の取り組みなどを通じての組織強化・拡大の成果が語られました。

唐紙書記長のまとめでは、春のたたかひの運動の成果と団体交渉で現れている会社姿勢などから当面する課題について意思統一が行われ、各職場でのたたかひを確認し、会議は成功裏に終了しました。

運車部会「4・25安全集会」開催！



運輸車両部会は、4月25日にさいたま市産業文化センターにて「4・25安全集会」を開催しました。この日は福知山線脱線事故から20年。事故では乗客・運転士107名が命を落とし、562名が重軽傷を負いました。20年を経てもご遺族や被害に遭った方々の苦しみや悲しみが消えることはありません。当時の振り返りと現在の原因究明や職場活動の共有を通じて安全な職場風土を創ることを目的に、98名の組合員が参加しました。

部会長あいさつでは、福知山線脱線事故当時に駅で勤務していたJR西日本の組合員が事故前後のJR西日本の職場風土や自身が見聞きしたことについて、報道記事や資料に依らない現場で働く者目線のエピソードを紹介しました。討論においては各職場から事故振り返り映像を観ての感想、今職場で起きていることなどについて13名から発言がありました。

「稼ぐ」が先行し、懲罰的日勤教育が横行していた20年前のJR西日本を見て、今の私たちが置かれている状況はそれ以上かもしれない、責任追及から原因究明によって安全風土を築き守っていかなければならないという危機感を持ち、運輸車両部会は鉄道の安全を仲間とともに創り出していきます。



5月3日 憲法大集会

相次ぐ、組合加入！4月・5月で

4名加入！



職場での地道な関わりで培われた信頼関係や仲間の大切さ、共に行動する必要性を感じ、加入を決意。1人では弱い立場でも、仲間と行動し、労働者の権利を守り抜こう！



起ち上がれ未来へ！

憲法記念日の5月3日、有明防災公園で開催された「2025憲法大集会」に38,000名が参加(主催者発表)し、大宮地本から22名の仲間が参加しました。憲法は国家権力が権力により暴走しないよう、制約をかけ、私たち市民が安心して暮らせるためのものです。平和な社会の実現のために「憲法9条」をしっかりと守り抜こう！そして、今こそ世界で起きている戦争等を他人事にせず、感じ、学び、議論し、自分たちの将来を広い視野で見つめ、行動しよう！



無料



法律相談
□6月10日(火)
□7月 8日(火)
□13:30~15:00
場所：大宮地本
会議室

相談日の5日前までに、地本又は各支部へ連絡して下さい。

お気軽に相談を！

JR 東 労 組 大 宮 地 本

第20回バスケットボール大会開催！

とき:2025年6月27日(金) 9:00~

場所:ブレックスアリーナ宇都宮

(JR 宇都宮駅東口徒歩約20分)

参加費 一人 500円

弁当代 一人 500円

(弁当代は申し込み者のみ。参加申し込み時に注文してください。)



サークル協議会

「第20回サークルセミナー」開催

とき:2025年6月28日(土) 14:00~

場所:大宮地本会議室

よく遊び、よく学び、よくたたかおう

JR 東 労 組 大 宮 地 本

第22回ボウリング大会開催

5月14日、ウニクスボウル南古谷にて「大宮地本第22回ボウリング大会」を17名の仲間が集まり開催しました。OBの先輩にも参加していただき、楽しくボウリングをすることが出来ました。日頃の練習の成果を発揮できた方、久しぶりで上手くスコアが伸びなかつた方など色々となりましたが無事に終了しました。



大宮支部だより



大宮支部は5月11日春のたたかいの集大成として「都電荒川沿線散策ツアー＆手ぶらBBQレクリエーション」を開催し、家族を含め26名が参加しました。支部ではレク開催に向けて準備委員会を立ち上げ、合計3回準備委員会を開催し、「交流を深め、来てくれる方が一日楽しめるレクを、目指そう」と目的を決めて、現地の下見・行程の調整、情報づくりと当日のパンフレット作成を担いました。



当日は天気にも恵まれ、各々が電散策へ向かいました。参加した仲間からは、「家族と共にあらわ遊び園にて動物と触れ合ったりして楽しめた」「三ノ輪橋商店街は下町の雰囲気、安くてメンチカツが美味しかった」「どこかに行こうか、どうしたらいいのかわからなかったけど、行ったことのない街に出向くのも楽しかった」との感想を頂きました。BBQ会場では、じゃんけん大会とお子様へ母の日のプレゼントを贈呈し、料理をしながら交流を深めることができました。来賓の唐紙書記長からあいさつを頂き、「春のたたかいで総対話の貫徹と賃上げを勝ち取る取り組みを各分会でたたかい抜いたこと。社員代表選を通じた組織強化が勝ち取れたこと。大宮統括センターにて社員代表選を勝利したこと。そして、再加入を勝ち取れたことは大きな成果であること。」を参加者と共に確認しました。



今後も大宮支部は組織強化拡大の実現に向け、分会と共に実践します。

【追悼】

2025年5月12日、

今年1月に逝去された、故渡辺千古弁護士の偲ぶ会が目黒さつきビル会議室で行われました。東労組運動の中で活動を共にし、また寝食や苦楽を共にしてきた諸先輩や仲間たちから渡辺先生を偲ぶ言葉が語られ、人間味あふれる人柄や労働者の立場に立った弁護士活動での活躍を共有する事ができました。渡辺先生は、大宮地本の顧問弁護士を務めて頂き、毎月行われる「無料法律相談」で組合員の悩みに応じて頂きました。ご冥福をお祈りいたします。

足尾研修開催します！

開催日 2025年 6月23日(月)

行程

9:30 宇都宮支部会議室集合

10:00 宇都宮支部出発

16:40 宇都宮支部到着・まとめ

17:30 懇親会

19:00 解散

参加費 1人2,000円



大宮地本第26回定期大会

とき:2025年7月5日(土)

場所:さいたま市文化センター多目的ホール

1年間のたたかいの成果を確認し、今後の会社施策に向き合い、仲間と共に苦難を乗り越えるために未来を展望しよう！組織強化・拡大に向けて一致団結してたたかおう！

